

平成28年度学校評価報告書

1 本年度の重点目標

- ・主体的に学び続ける意欲を養う。
- ・規則正しく生活する習慣を養う。
- ・希望する進路を適切に選択する能力を養う。
- ・健康な身体、たくましい精神、生命を尊ぶ態度を養う。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学校経営	重点目標や経営方針は、生徒、保護者、地域の実態が今日的な課題に対応したものであるが、保護者や生徒への周知については工夫改善する必要がある。	教育目標が生徒の実態や保護者、地域の願いを踏まえたものであることや、信頼される学校づくりを目指した教育活動について、良好な評価を得ている
改善方策	ホームページや広報誌への掲載、PTA総会等で保護者の集まる機会を有効に活用した情報発信に努める。	
学習指導	生徒の実態や学習状況に対応した学習指導が行われているが、外部研修会の情報共有や校内研修の充実に課題があるとの意見がある。	学校での学習活動（体験的活動）や資格取得を目指した指導については、概ね良好の好評価が得られている。
改善方策	教科内研修を充実させ教育課程の改善に向けた検討を進めるとともに、各科目の指導内容・指導方法の工夫・改善に努める。	
生徒指導	基本的な生活習慣の確立に向けた取組や問題行動等への対応は行われているが、生徒理解の方法や情報共有に課題があるとの意見がある。	挨拶やマナー教育等の指導について、学校としての対応は、良好な評価を得ている。
改善方策	学校全体での教育相談や個人面談等を充実し、個別対応を含めた生徒指導の充実に努めるとともに、学校全体の情報共有に努める。	
進路指導	進路決定状況は良好であるが、今後もキャリア教育の視点を踏まえた発達段階に応じた指導を充実する必要があるとの意見がある。	生徒一人一人の適性を踏まえた進路指導について、学校としての対応は適切であるとの好評価を得ている。
改善方策	学校としての社会的・職業的な自立に向けたキャリア教育の充実とともに、進路指導部を中心とした進路相談活動の充実に努める。	
健康安全指導	安全教育や命の大切さを育む教育活動をさらに充実する必要があるとの意見がある。	命の大切さを育む教育やいじめなどの問題行動への対応について、学校として適切であったとの評価を得ている。
改善方策	交通安全や防災等の意識の高揚を図るとともに、いじめ防止基本方針の徹底によりいじめなどの問題行動の未然防止、早期発見・早期対応の取り組みをさらに充実する。	
特別活動	生徒の部活動や生徒会活動の自主的な取り組みはなされているが、LHRの活用について工夫する必要があるとの意見がある。	学習と部活動を両立させる指導について、学校としての取組は、概ね良好な評価を得ている。
改善方策	生徒の自主的活動の更なる充実に努めるとともに、地域と連携した活動を推進する。	
PR活動	体験入学や広報誌等の取組について工夫・改善に努めているが、中学生やその保護者、中学教員へのPR活動の充実が必要であるとの意見がある。	本校の教育活動の周知方法について、Webページや広報誌の作成など、学校としての取り組みは、好評価が得られている。
改善方策	今年度から新たな取組を行った。その取組を検討し、中学校訪問・学校説明会やWebページの内容のさらなる充実に努める。	
公表方法	Webページへの掲載 周辺町内会へ広報誌の配布	